



2020年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月11日

上場会社名 日本カーボン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 5302 URL <http://www.carbon.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 尚史
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 業務統括部長 (氏名) 今井 浩二 TEL 03 (6891) 3730
 四半期報告書提出予定日 2020年5月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第1四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年3月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第1四半期	6,249	△48.4	1,120	△78.0	1,108	△77.8	485	△85.1
2019年12月期第1四半期	12,103	42.6	5,095	168.5	4,983	161.4	3,266	168.1

(注) 包括利益 2020年12月期第1四半期 △499百万円 (—%) 2019年12月期第1四半期 3,428百万円 (254.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第1四半期	43.88	—
2019年12月期第1四半期	295.26	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第1四半期	72,687	49,914	59.8	3,929.89
2019年12月期	77,939	51,654	57.9	4,080.33

(参考) 自己資本 2020年12月期第1四半期 43,475百万円 2019年12月期 45,140百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	100.00	—	100.00	200.00
2020年12月期	—	—	—	—	—
2020年12月期（予想）	—	100.00	—	100.00	200.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	14,700	△38.5	2,400	△73.0	2,200	△74.5	1,400	△75.1	126.55
通期	31,700	△29.4	4,600	△69.0	4,100	△72.9	2,800	△71.1	253.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規一社、除外一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期 1 Q	11,832,504株	2019年12月期	11,832,504株
② 期末自己株式数	2020年12月期 1 Q	769,735株	2019年12月期	769,438株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期 1 Q	11,062,904株	2019年12月期 1 Q	11,062,601株

※ 四半期決算短信は監査法人による四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】P.3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費増税後のGDP成長率下落が明らかになる中、新型コロナウイルスの世界的感染症拡大により輸出が弱含むなど、停滞感が顕著となりました。各種イベントの自粛が求められ、有効求人倍率も悪化するなど、企業マインドも悪化しました。

世界経済は、米国では2月までの雇用情勢は良好であったものの、3月以降は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い経済が大きく減速し、また、欧州では、昨年から引き続き輸出や鉱工業生産の下落傾向が続く中、新型コロナウイルス感染症拡大により3月以降のさらなる経済の減速が懸念されています。また、中国は、米中対立による影響に加えて、新型コロナウイルス感染症拡大により工業生産が大幅に減退しました。

このような状況の中、当社グループの主要関連産業であります鉄鋼産業は、鋼材受注が弱含んでおり、今後も新型コロナウイルス感染症拡大が長期化する際は、さらに下振れすることが懸念されています。半導体関連産業は、米中対立を背景に大型データセンターなどへのインフラ投資が停滞状態にあったことなどに加え、スマートフォン・自動車・産業機械などの最終製品の生産が停滞したことなどから足踏み状態となりました。一方で、国内の大型データセンター投資については、在宅勤務やリモートワークが加速したことを契機に、5Gの本格化にむけた拡大に向かうことが期待されています。

こうした事業環境の中、当社グループは、生産効率の向上と原価および環境負荷の低減を目的とした生産設備の拡充や、販売力を高めるための販売網強化を推進してまいりました。また、企業市民として、コンプライアンス体制の一層の強化・拡充と最良の製品を通して広く社会に貢献すべく品質管理の徹底を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高62億4千9百万円（前年同四半期比48.4%減）、営業利益11億2千万円（前年同四半期比78.0%減）、経常利益11億8百万円（前年同四半期比77.8%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、4億8千5百万円（前年同四半期比85.1%減）と減収減益となりました。

なお、セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(炭素製品関連)

電極部門は、電極市場の需給が緩んだことから、売価重視の販売を継続しておりますが、国内・輸出とも販売量は対計画比で半減する結果となっております。

ファインカーボン部門は半導体関連市場における新規設備投資等の停滞が顕在化しています。

リチウムイオン電池負極材は、民生・車載とも堅調な結果となりました。

この結果、売上高は56億8千1百万円（前年同四半期比51.2%減）となり、セグメント利益（営業利益）は9億5千1百万円（前年同四半期比80.8%減）となりました。

(炭化けい素製品関連)

炭化けい素連続繊維の製造・販売については、概ね計画通りに推移しました。

この結果、売上高は4億3千4百万円（前年同四半期比173.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は1億2千6百万円（前年同四半期比262.9%増）となりました。

(その他)

その他の事業は、産業用機械の製造・販売が減少した結果、売上高は1億3千3百万円（前年同四半期比54.9%減）、セグメント利益（営業利益）は3千8百万円（前年同四半期比59.6%減）と減収減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間における総資産は、前連結会計年度末に比べ52億5千1百万円減少し、726億8千7百万円となりました。

流動資産は、棚卸資産の増加10億2千8百万円がありましたが、受取手形及び売掛金の減少42億4千4百万円等により、前連結会計年度末に比べ46億1千7百万円減少し、459億8千9百万円となりました。

固定資産は、有形固定資産の新規取得・設備更新等による増加7億4千7百万円等がありましたが、投資有価証券の減少15億2千5百万円等により、前連結会計年度末に比べ6億3千4百万円減少し、266億9千8百万円となりました。

負債は、前連結会計年度末に比べ35億1千2百万円減少し、227億7千2百万円となりました。

流動負債は、支払手形及び買掛金の減少12億3百万円、未払法人税等の減少16億7千8百万円等により、前連結会計年度末に比べ、29億8千7百万円減少し、177億3千7百万円となりました。

固定負債は、繰延税金負債の減少4億6千1百万円等により、前連結会計年度末に比べ、5億2千4百万円減少し、50億3千4百万円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益4億8千5百万円がありましたが、配当金の支払11億2百万円、その他有価証券評価差額金の減少10億2千9百万円等により、前連結会計年度末に比べ17億3千9百万円減少し、499億1千4百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2020年2月10日に発表いたしました、2020年12月期の第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正しております。本日公表の「2020年12月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	17,852	16,663
受取手形及び売掛金	14,010	9,766
商品及び製品	9,153	10,002
仕掛品	4,829	4,901
原材料及び貯蔵品	4,220	4,326
その他	562	351
貸倒引当金	△20	△23
流動資産合計	50,607	45,989
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	16,680	16,758
減価償却累計額及び減損損失累計額	△9,536	△9,637
建物及び構築物（純額）	7,144	7,121
機械及び装置	44,008	44,531
減価償却累計額及び減損損失累計額	△37,232	△37,407
機械及び装置（純額）	6,775	7,123
車両運搬具及び工具器具備品	3,264	3,283
減価償却累計額及び減損損失累計額	△2,708	△2,743
車両運搬具及び工具器具備品（純額）	555	540
土地	3,523	3,520
建設仮勘定	821	1,262
有形固定資産合計	18,820	19,567
無形固定資産	160	188
投資その他の資産		
投資有価証券	6,044	4,518
繰延税金資産	371	405
その他	1,946	2,024
貸倒引当金	△10	△7
投資その他の資産合計	8,351	6,942
固定資産合計	27,332	26,698
資産合計	77,939	72,687

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,821	4,618
短期借入金	8,390	8,590
未払費用	1,118	1,209
未払法人税等	1,995	317
賞与引当金	214	479
役員賞与引当金	96	15
工場移転関連費用引当金	317	290
その他	2,770	2,216
流動負債合計	20,725	17,737
固定負債		
長期借入金	3,637	3,590
繰延税金負債	569	107
退職給付に係る負債	757	743
役員退職慰労引当金	43	46
役員株式給付引当金	70	69
環境対策引当金	28	28
資産除去債務	62	62
その他	390	386
固定負債合計	5,559	5,034
負債合計	26,284	22,772
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,402	7,402
資本剰余金	7,857	7,857
利益剰余金	29,689	29,068
自己株式	△1,921	△1,923
株主資本合計	43,028	42,406
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,129	1,099
為替換算調整勘定	49	32
退職給付に係る調整累計額	△66	△63
その他の包括利益累計額合計	2,112	1,069
非支配株主持分	6,513	6,439
純資産合計	51,654	49,914
負債純資産合計	77,939	72,687

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
売上高	12,103	6,249
売上原価	5,659	4,093
売上総利益	6,444	2,156
販売費及び一般管理費	1,348	1,035
営業利益	5,095	1,120
営業外収益		
受取賃貸料	5	6
受取保険金	6	63
その他	41	41
営業外収益合計	53	111
営業外費用		
支払利息	23	17
為替差損	9	16
持分法による投資損失	23	31
固定資産除却損	53	5
その他	56	52
営業外費用合計	165	123
経常利益	4,983	1,108
特別損失		
火災損失	-	247
特別損失合計	-	247
税金等調整前四半期純利益	4,983	861
法人税、住民税及び事業税	1,532	319
法人税等調整額	20	△17
法人税等合計	1,552	302
四半期純利益	3,431	559
非支配株主に帰属する四半期純利益	165	74
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,266	485

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年1月1日 至2019年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年1月1日 至2020年3月31日)
四半期純利益	3,431	559
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△13	△1,036
繰延ヘッジ損益	△2	—
為替換算調整勘定	△4	△25
退職給付に係る調整額	16	3
その他の包括利益合計	△3	△1,059
四半期包括利益	3,428	△499
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,260	△555
非支配株主に係る四半期包括利益	167	56

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(取締役に対する株式給付信託 (BBT) 導入)

当社は、取締役等の中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的として、業績連動型株式報酬制度「株式給付信託 (BBT)」を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 平成27年3月26日)に準じております。

(1) 取引の概要

本制度は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託を通じて取得され、取締役等に対して、当社が定める役員株式給付規定に従って、当社株式および当社株式を時価で換算した金額相当の金銭が本信託を通じて給付される業績連動型株式報酬制度です。なお、取締役等が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等の退任時となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価格(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当第1四半期連結会計期間末における当該自己株式の帳簿価額は128百万円、株式数は427百株、当第1四半期連結会計期間の期中平均株式数は427百株となります。また、1株当たり情報の算定上、控除する自己株式に含めております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年1月1日 至 2019年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,649	158	295	12,103	-	12,103
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	144	144	△144	-
計	11,649	158	439	12,248	△144	12,103
セグメント利益	4,962	34	93	5,090	5	5,095

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2020年1月1日 至 2020年3月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	炭素製品 関連	炭化けい素 製品関連	その他	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,681	434	133	6,249	-	6,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	-	200	200	△200	-
計	5,681	434	333	6,450	△200	6,249
セグメント利益	951	126	38	1,116	3	1,120

(注) 1. セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益の合計額は四半期連結損益計算書の営業利益と同額であります。